

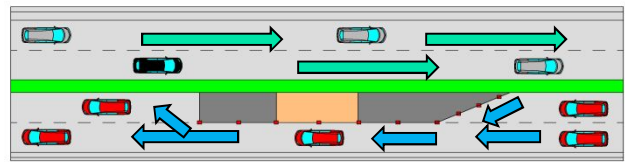
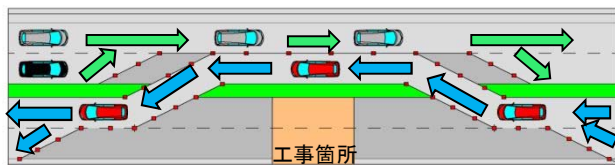
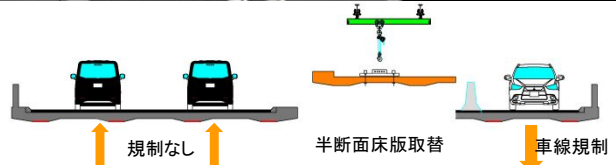
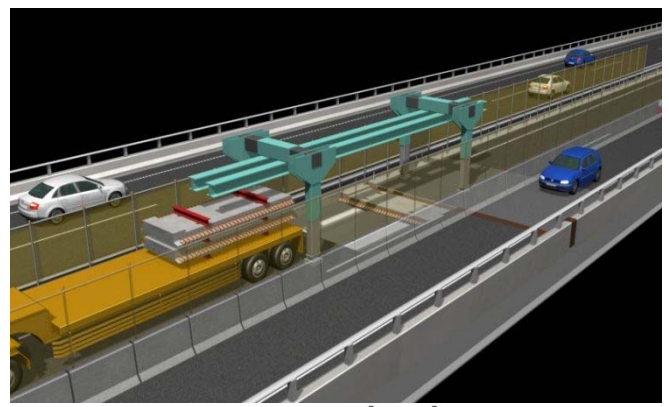
半断面床版取替工法

従来の床版取替工事では、床版を取替する側の車線を全面通行止めとし、もう一方の車線を対面通行とすることで工事を行ってきました。このため、工事箇所を対面通行規制とするために、大規模な対策を行わなければなりません。

半断面床版取替工法は、工事を一車線のみで規制で施工可能な工法であり、渋滞による社会的損失を最小限に抑えることのできる画期的な工法です。

【 従来技術: 全面通行止施工 】

【 提案技術: 車線規制施工 】



対面通行規制



車線規制

特長

● ストリンガー不要

縦目地部にプレストレスを導入することによって、通常の床版と同等の疲労耐久性能を保有し、ストリンガーが不要となります。

● 片車線通行可能

半断面床版取替後すぐに交通開放ができるように、一次床版には「プレテンション構造」を採用しています。

● 実証実験

耐用年数100年相当の繰返し輪荷重疲労載荷試験を実施し、疲労耐久性が確保されていることを確認しました。

● 広汎な適用性

対面通行規制が難しいトンネル連続区間や、車線規制による社会的損失が著しい重交通区間などにも適用できます。

NEXCO総研
共同開発

特許出願中